

## スペイン政局の難解なパズル

発表日：2016年2月26日(金)

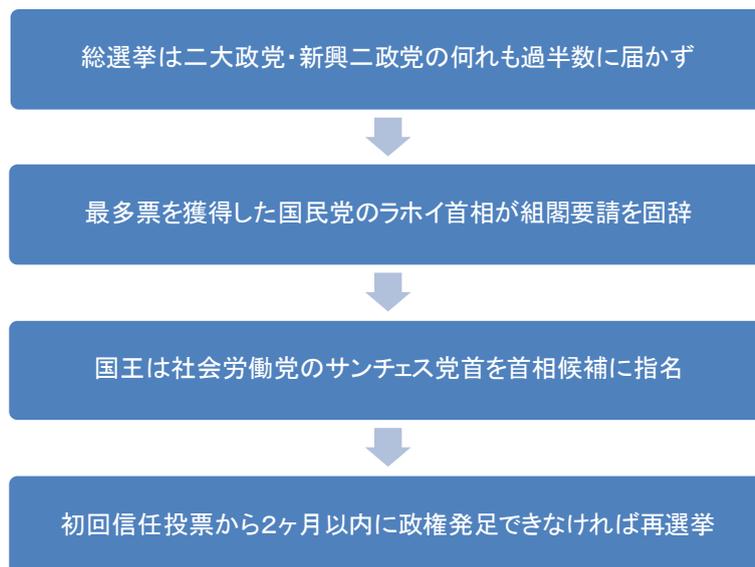
～今年の夏も欧州が熱そうだ～

第一生命経済研究所 経済調査部  
主席エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

◇ スペインの政権発足に向けた信任投票が3月2日に開始する。投票に先駆けて社会労働党と市民は政策連携で合意したが、国民党やポデモスが連立に加わるか、投票を棄権しない限り、政権発足に必要な議席に届かない。初回投票から2ヶ月以内に政権が発足できなければ、議会が解散され、6月下旬にも再選挙が行なわれる。英国の国民投票、ギリシャの国債償還、難民流入の再加速など、年央にかけて欧州発のリスクイベントが重なるため、市場の動揺を誘う恐れがある。

政治空白が続くスペインでは、国王から首相候補に指名された中道左派の第2党「社会労働党（PSOE）＜90議席＞」のサンチェス党首が政権発足に向けた協議を続けている。24日にリベラル中道系の第4党「市民（C’ sまたはCiudadanos）＜40議席＞」との間で、政策綱領に署名した。政権発足に向けた議会審議は3月1日に開始、初回の信任投票が3月2日に行われ、議会（定数350議席）の絶対過半数（176議席）が信任すれば政権が発足する。初回投票で信任されない場合、3月5日に2回目の投票が行われ、以降の投票では単純過半数（投票総数の過半数）の信任が得られれば、政権が誕生する。初回投票から起算して2ヶ月以内に政権が発足できなければ、法律の規定に基づき議会が解散される。議会の解散から54日以上が経過した後、再選挙が行なわれる（図表1）。

（図表1）スペイン政局を巡る最近の動き



出所：第一生命経済研究所が作成

社会労働党と市民の合計議席は130と、初回投票での信任に必要な絶対過半数（176議席）に満たない。中道右派の第1党「国民党（PP）＜123議席＞」と左派の第3党「ポデモス（Podemos）＜69議席＞」を加えた上位4政党を除く残りの政党（5つの地域政党＜合わせて15議席＞と1つの少数左派政党＜2議席＞、以下、これらを総称して「その他政党」）の議席を全て掻き集めても158と絶対過半数に届かない。二党主導の政権が発足するには、①ポデモスが連立に加わる（199議席＞176議席）、②国民党が連立に加わる（253議席＞176議席）、③国民党が投票を棄権する（130議席＞114議席）、④ポデモスが投票を棄権し、「その他政党」から11議席を上積みする（141議席＝141議席）、⑤ポデモスと「その他政党」が投票を棄権する（130議席＞127議席）、⑥ポデモスと「その他政党」の半数が投票を棄権し、棄権しなかった「その他政党」から4議席を上積みする（134議席＝134議席）、何れかの組み合わせが必要となる（図表2）。

（図表2）スペインの政権発足に必要な政党の組み合わせ

<b>【二党連立】</b>		<b>【初回投票での絶対過半数】</b>	
社会労働党 (PSOE)	90	議席総数	350
市民 (C's)	40	絶対過半数	176
	<b>130</b>		
<b>【二党に「その他政党」が合流】</b>		<b>【国民党が投票を棄権】</b>	
社会労働党 (PSOE)	90	投票総数	227
市民 (C's)	40	単純過半数	114
「その他政党」	28		
	<b>158</b>		
<b>【二党にポデモスが合流】</b>		<b>【ポデモスが投票を棄権】</b>	
社会労働党 (PSOE)	90	投票総数	281
市民 (C's)	40	単純過半数	141
ポデモス (Podemos)	69		
	<b>199</b>		
<b>【二党に国民党が合流】</b>		<b>【ポデモスと「その他政党」が投票を棄権】</b>	
社会労働党 (PSOE)	90	投票総数	253
市民 (C's)	40	単純過半数	127
国民党 (PP)	123		
	<b>253</b>		
		<b>【ポデモスと「その他政党」の半数が投票を棄権】</b>	
		投票総数	267
		単純過半数	134

注：「その他政党」は国民党/社会労働党/ポデモス/市民を除く5つの地域政党と1つの少数左派政党  
出所：スペイン内務省資料より第一生命経済研究所が作成

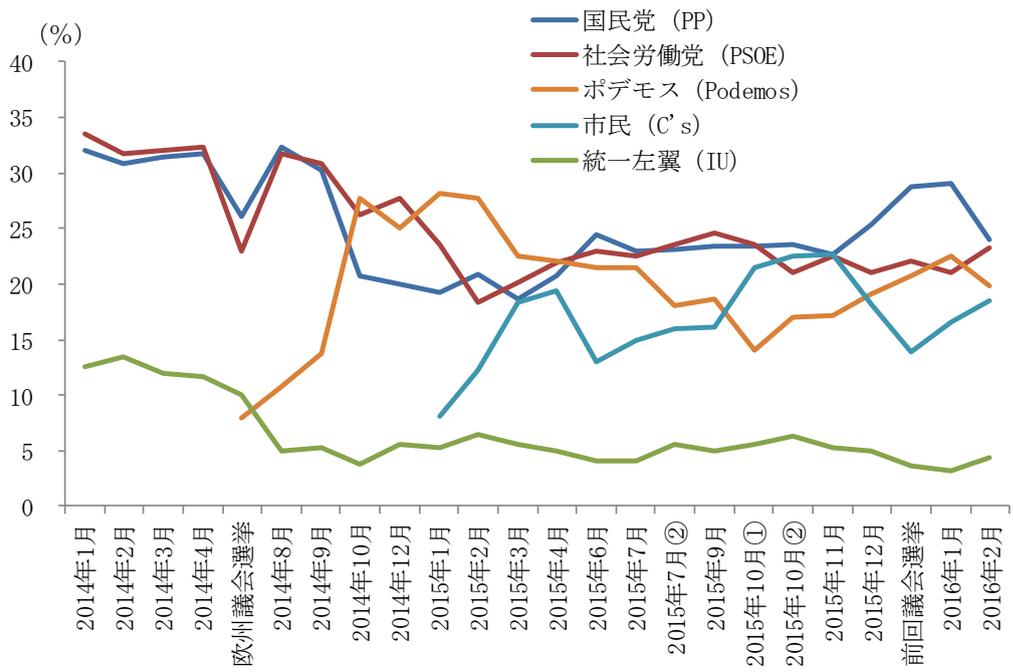
社会労働党と市民が連立に向けた政策協調で合意したことを受け、ポデモスは同時に進めていた社会労働党との連立協議を打ち切った。国民党も社会労働党政権の誕生に協力しない意向を伝えている。また、社会労働党は初回の信任投票に先駆けて、市民と合意した政策綱領を党内での議論と投票を予定している。二党合意は両党の政策を掛け合わせたもので、党内から細部で反対意見が出る恐れもある。このように政権発足の行方は引き続き混沌としている。

ただ、社会労働党とポデモスの左派連立に国民党が合流する可能性がほとんどないと考えられるのに対して、社会労働党と市民の中道連立にポデモス/国民党のどちらか一方が合流する可能性は残る。昨年12月の総選挙後、新たな汚職問題発覚などを背景に国民党の支持率が低下しており、社会労働党、ポデモス、市民との差が縮まっている（図表3）。引き続き再選挙となるシナリオの確率が一番高いが、国民党の支持率低下が続き、再選挙での勝利の可能性が揺らいだり、2党が国民党の受け入れ可能な政策提案を行なうなどした場合、土壇場での国民党の連立合流や投票棄権の線も浮上してくる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

先の投票日程から考えて、再選挙が必要となった場合の日程は6月下旬が有力視される。6月23日に英国のEU残留/離脱の是非を問う国民投票が予定され、7月下旬にはギリシャの国債償還を控える。夏場に向けて難民流入の再加速が予想され、難民問題がEU内の不協和音を高める恐れもある。年央にかけて欧州発のリスクイベントが重なるため、市場の動揺を誘うリスクに注意が必要となろう。

(図表3) スペインの主要政党別の支持率推移



出所：Metroscopia資料より第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。